

**2004年度第1四半期業績の概況  
事業再生の進捗状況**

**三菱自動車工業株式会社**

---

**2004年8月4日**

# 2004年度第1四半期業績の概況

市川 秀

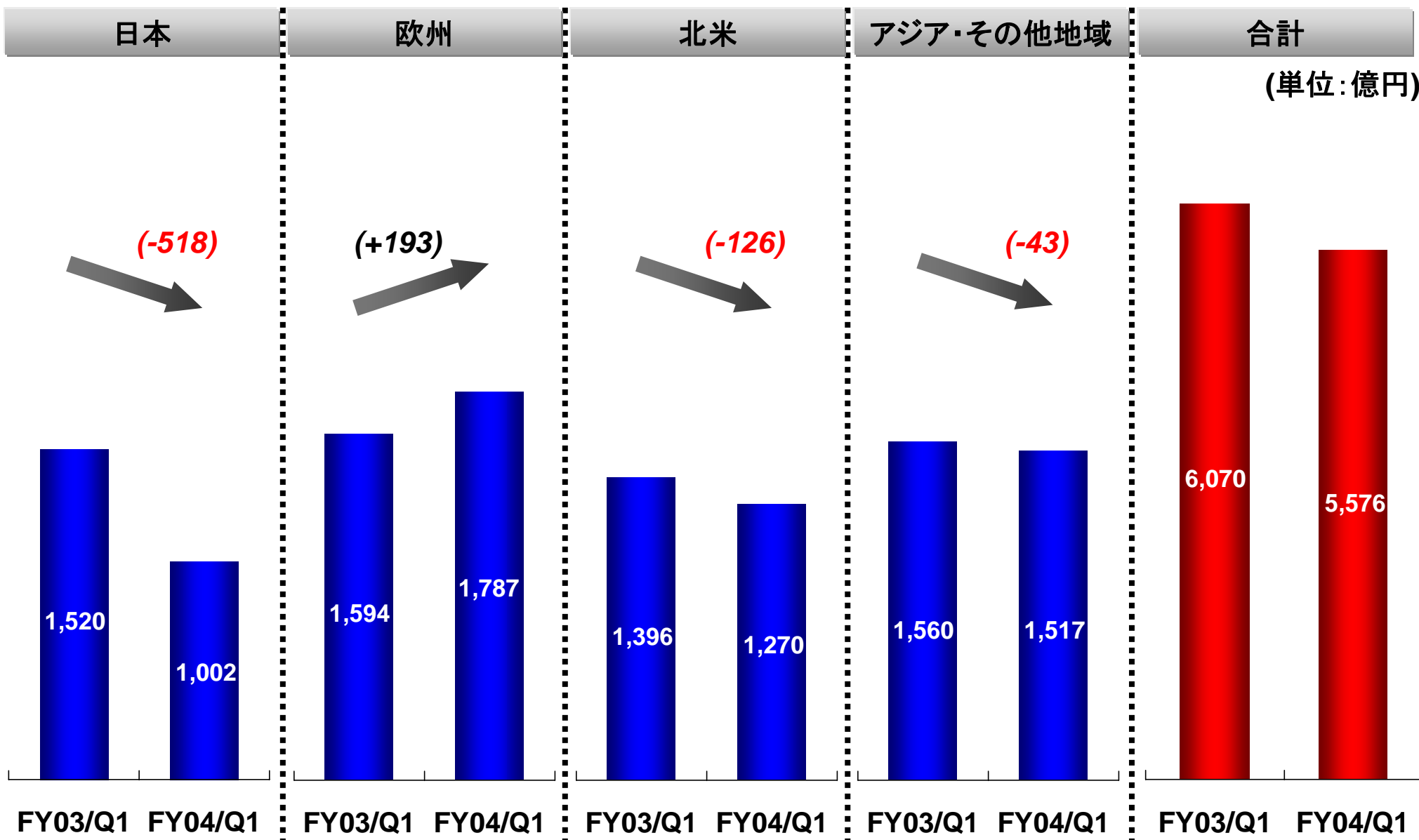
---

CFO

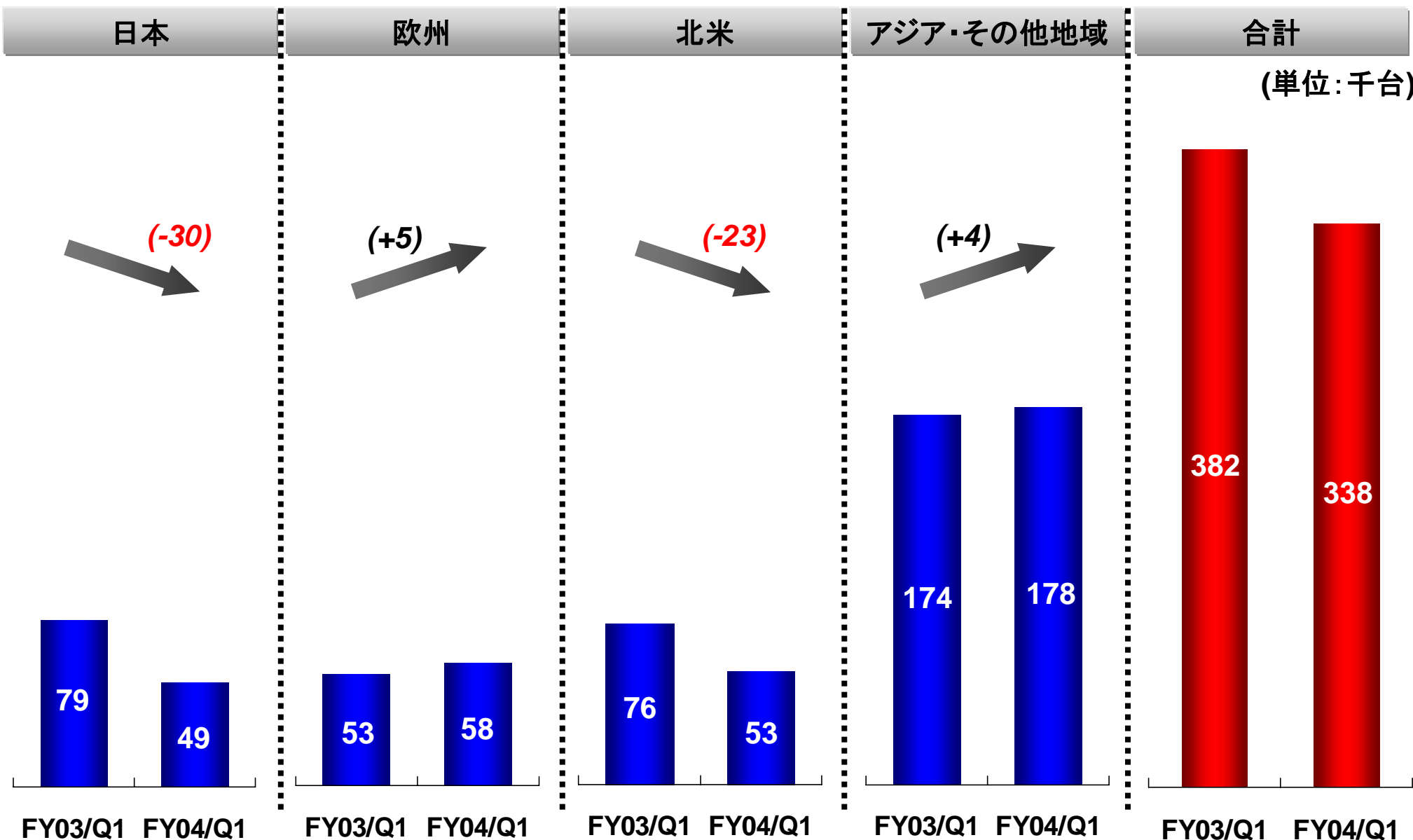
# 2004年度第1四半期の業績サマリー

(単位:億円)	FY03/Q1 実績 (参考値)	FY04/Q1 実績	差
売上高	6,070	5,576	-494
営業利益	-423	-317	+106
経常利益	-521	-390	+131
当期利益	-511	-547	-36
為替(入金レート) US \$ Euro	121.3 円/US \$ 126.6 円/Euro	107.6 円/US \$ 126.5 円/Euro	

# 2004年度第1四半期：地域別売上高



# 2004年度第1四半期：地域別販売台数(小売ベース)



# 2004年度第1四半期：貸借対照表

(単位：億円)

	前期末 (04年3月末)	FY04/Q1末 (04年6月末)	増減
資産合計	20,290	19,005	-1,285
有利子負債合計	10,626	7,337	-3,289
(自動車事業)	(8,693)	(5,644)	(-3,049)
(金融事業)	(1,933)	(1,693)	(-240)
株主資本合計	300	2,634	+2,334
期末為替レート	105.7 円/US \$ 128.9 円/Euro	108.4 円/US \$ 131.1 円/Euro	

# 事業再生の進捗

多賀谷 秀保

---

社長兼COO

「自立再生」に向けて、着実に前進しています。  
多くの皆様から、再生計画に対するご理解を頂き、  
財務基盤を強化することができました。

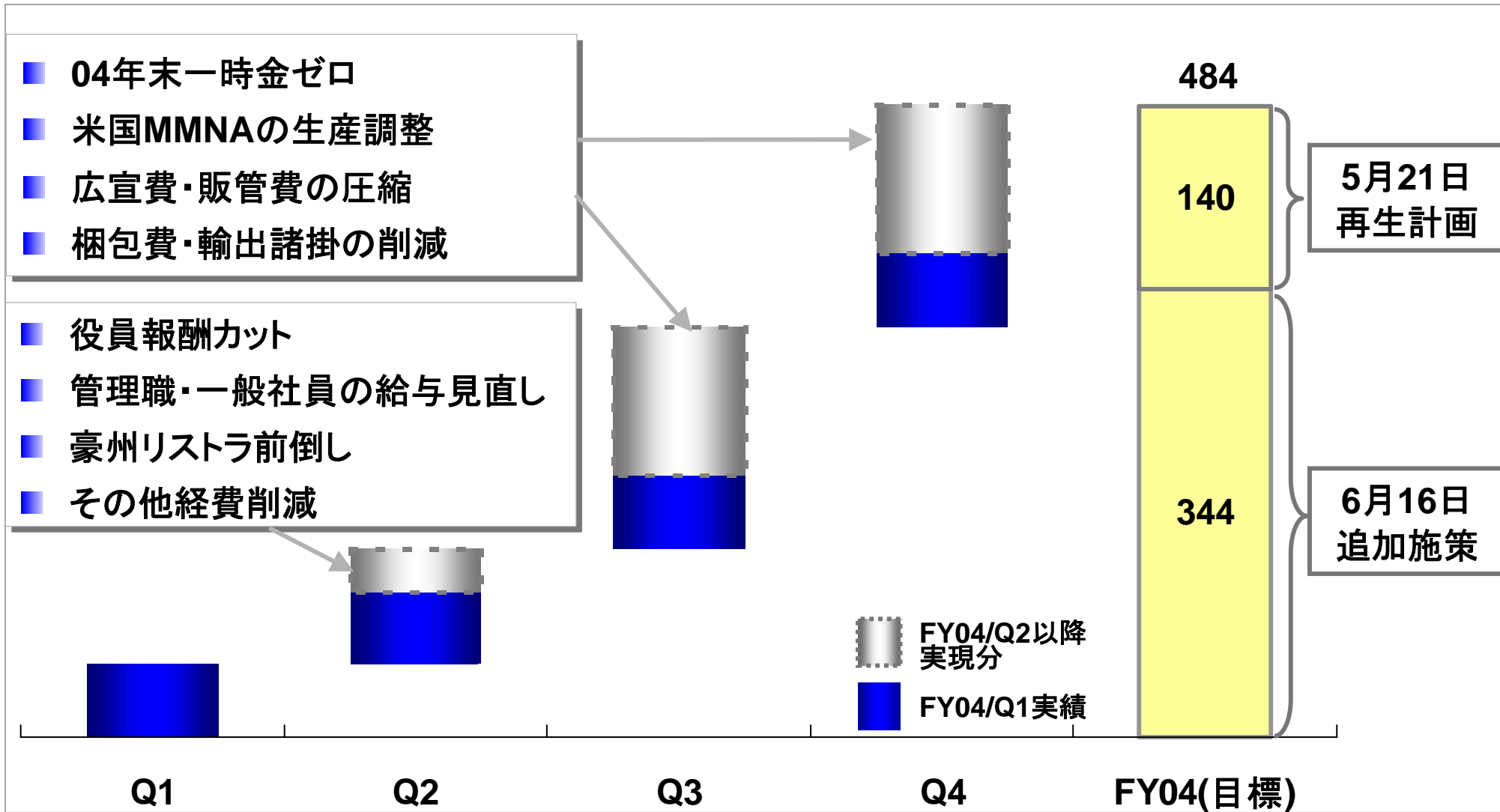
私が、オペレーションの先頭に立ち、  
お客様に安心してお乗りいただける車をお届けし続けます。

再生計画の諸施策を確実に達成することで、  
皆様にご満足頂ける健全な企業に生まれ変わることを  
お約束いたします。

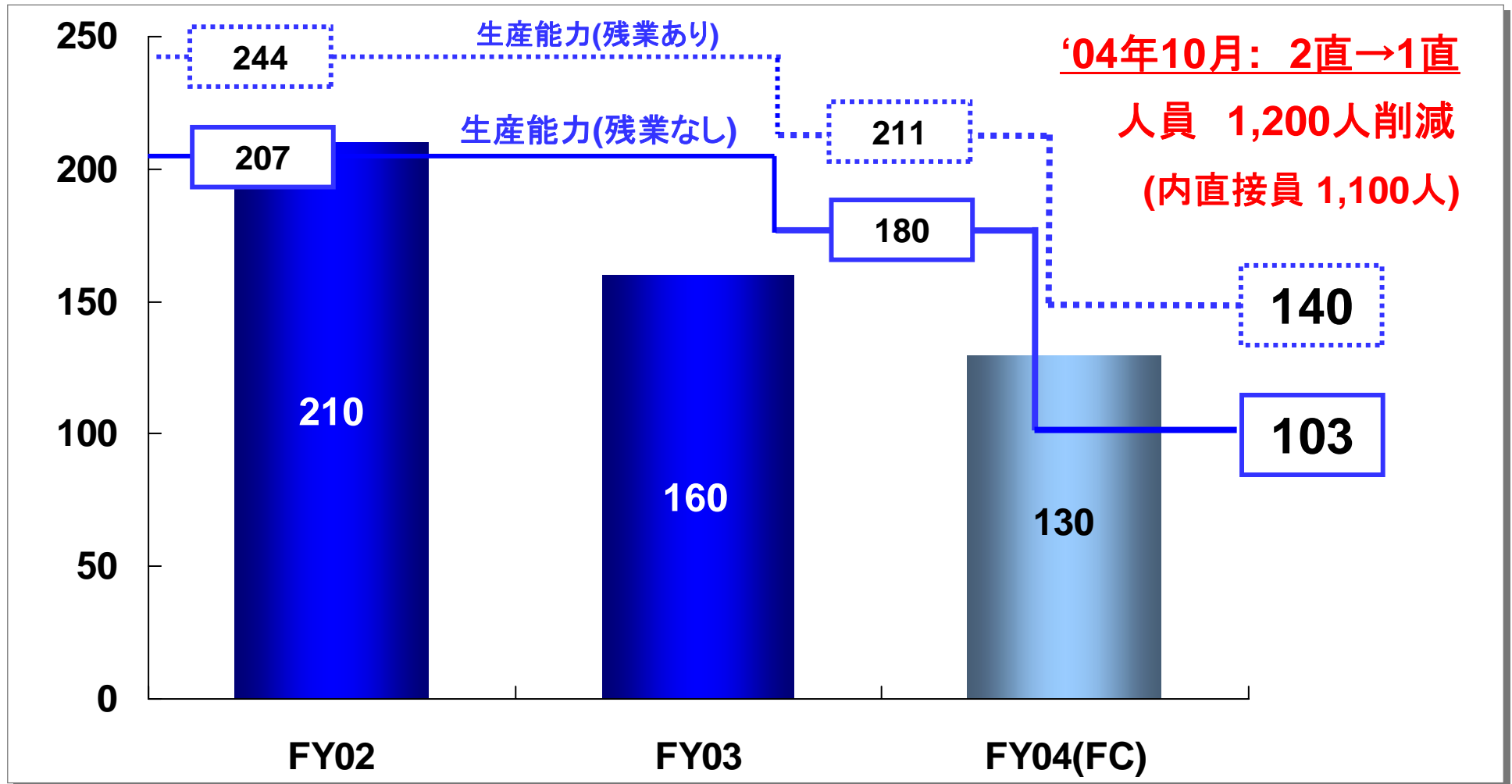


# 2004年度計画の達成に向けたマイルストーン:コスト削減

自立再生に向け、一つ一つの施策を確実に実行

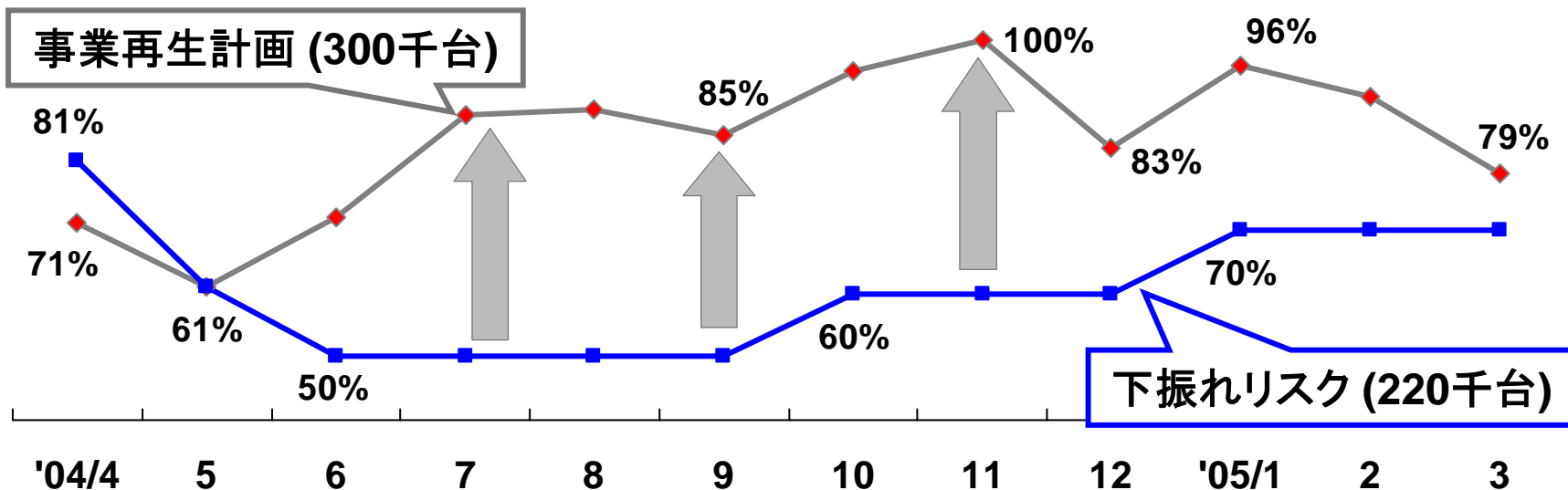


## 販売正常化の一環で、販売と生産能力の適正化を実施



## お客様と徹底的に向き合った販売基盤の構築

販売計画  
(前年比)



信頼回復  
に向けた  
施策

指示改修  
案件の  
徹底的  
洗い出し

### 特別対策

- 愛車無料点検
- 3年フルサポート
- 夏季連休対応
- 販売会社支援

### 追加特別対策

- 愛車無料点検
- 3年フルサポート
- 販売会社支援

新型車、スペシャル車

## 具体的アクションプランへの落とし込み

### 生産能力 調整

米国MMNAの生産体制を2直⇒1直へ変更

04年10月

岡崎工場の量産停止時期前倒し

06年度中  
⇒05年12月(予定)

岡崎工場の人員再配置とトヨタグループ等、  
近隣企業への再就職紹介

推進中

豪州組立工場における早期退職

推進中

### 資材費 削減

調達部品物流改革プロジェクトの立上げ

活動中

## 経済産業省

### 【MMCへの支援】

信頼回復を前提として産業再生法を適用(付帯条件付)

⇒増資にかかる登録免許税の軽減、及び、

日本政策投資銀行からの低利融資の制度要件

7月16日認定

### 【MMC関連下請企業・販売会社への支援】

政府系金融機関によるセーフティネット貸付

セーフティネット保証2号(保証限度額の別枠設定)

⇒'04年5月21日より、一年間有効

5月21日発動

7月15日指定

## 厚生労働省

### 【MMC・MMC関連下請企業・販売会社への支援】

雇用維持・再就職支援

7月30日公表

6月      7月      8月      9月      10月      11月      12月      '05/1月 ---

## 事業再生計画実行のモニタリング、達成の後押し

### フェーズ1

課題抽出、CFTのテーマ  
設定、メンバー選定

➤ 面談や情報収集と  
その分析による経営  
課題の抽出

➤ 事業再生に向けての  
CFTの提案

### フェーズ2

クロス・ファンクショナル・チーム  
(CFT)で、実行策を策定・提案

- クロスファンクショナルチーム
- ガバナンス改革
  - マーケットに正直な車作り
  - 商品力と販売力を増幅させる総合力の実現
  - 顧客の生涯化
  - 台数計画策定のプロセスとコミットメント
  - 消費者目線の品質マネジメント
  - 類別数・部品点数・投資の削減
  - 最適な生産方式の構築
  - サプライチェーンの全体最適を実現する物流
  - やる気が起きる風土作り

### フェーズ3

執行部門との連携  
実行支援とモニタリング

経営インフラの確立  
及びモニタリング

各CFT毎に執行  
部門の実行支援と  
モニタリング

### 緊急対策活動

(1)経費削減、(2)販社チャンネル支援、(3)品質改善



CFTに  
発展的統合

# 信頼回復に向けた具体的取組み

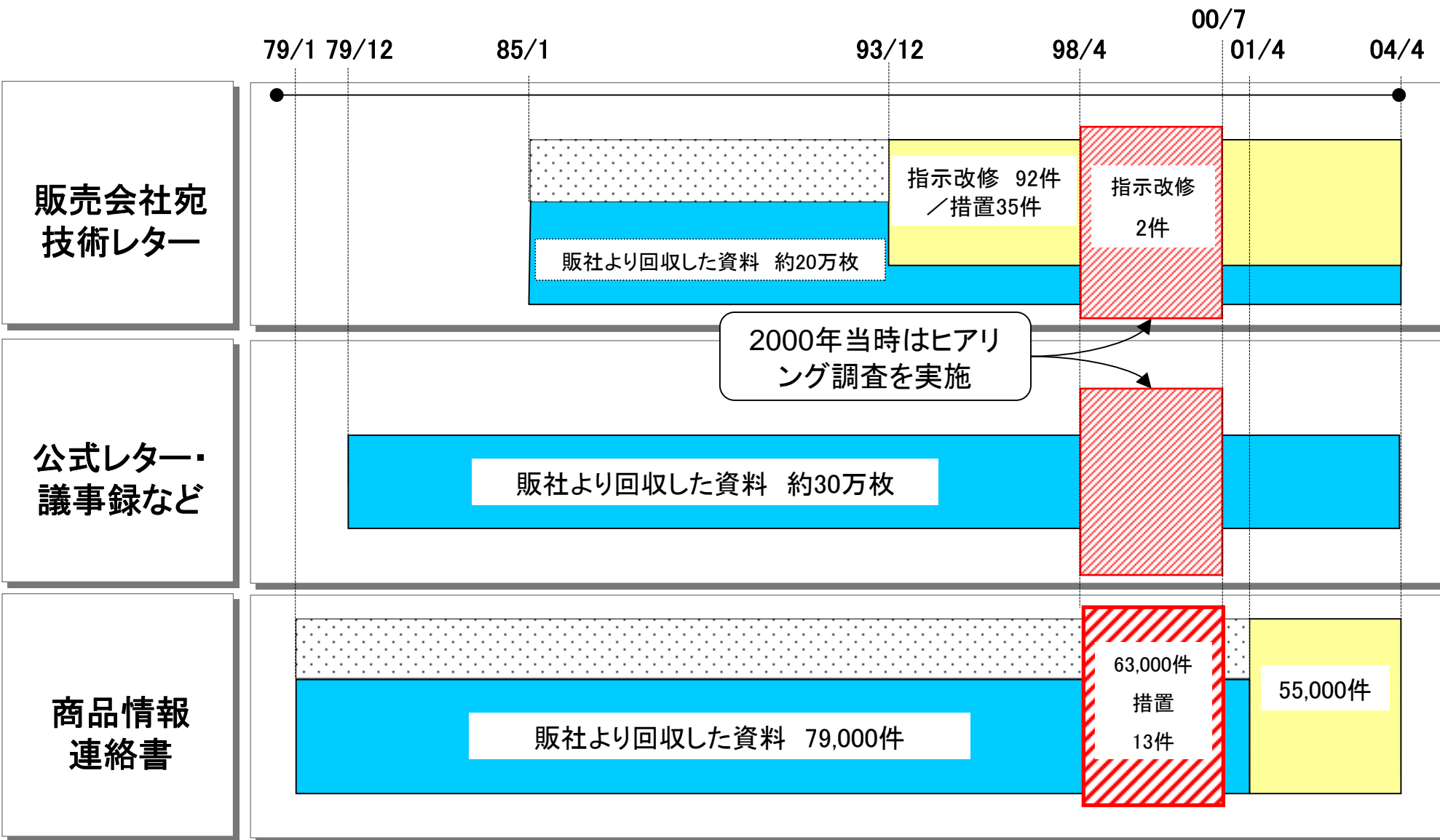
古川 洽次

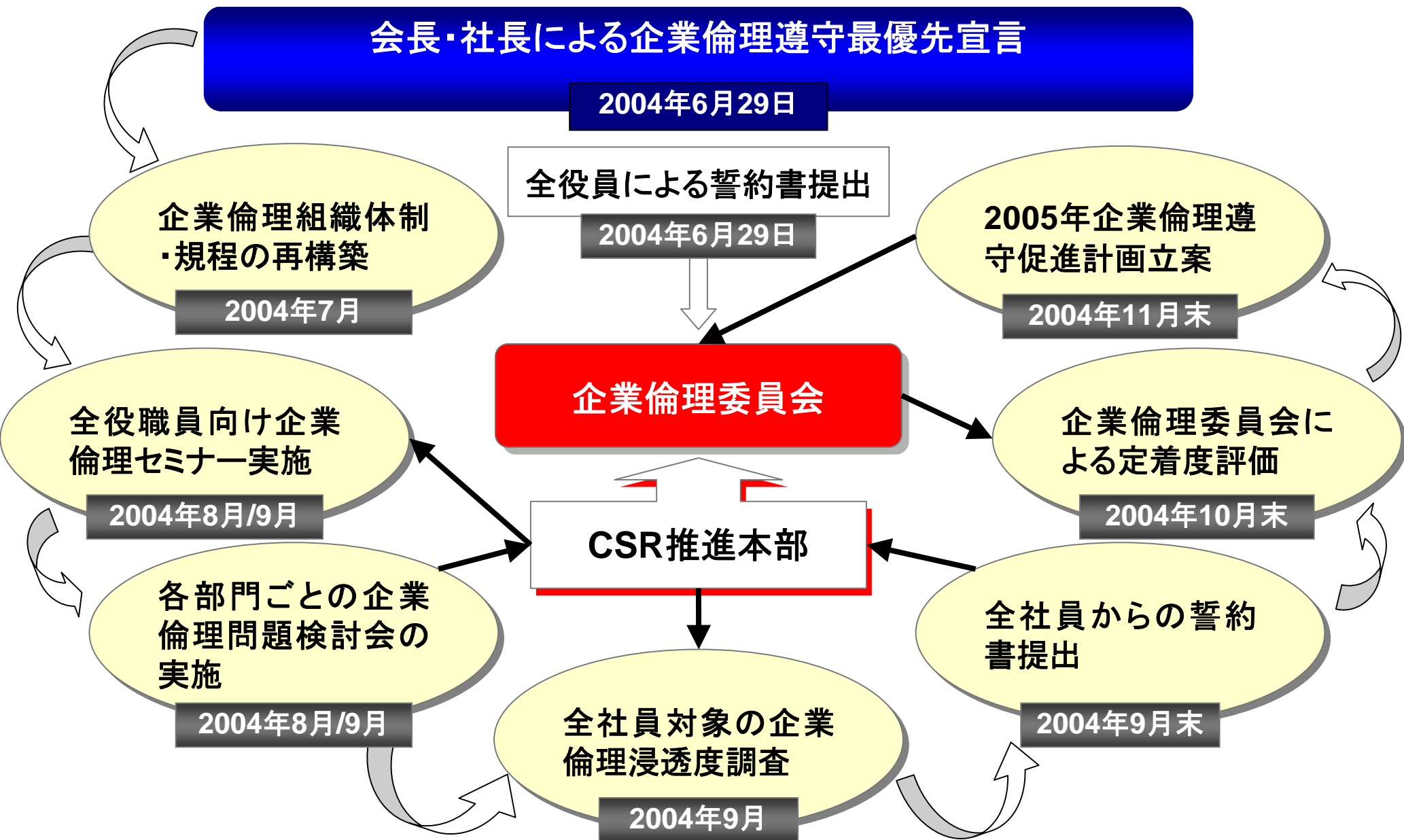
---

副会長

# 信頼回復: 指示改修案件の拡大調査

(  : MMC保管分、  : 販社回収分、  : 2000年当時の調査対象)





本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、

- 事業再生計画の各種目標・各種施策の実現可能性
- 当社グループまたは当社から会社分割された三菱ふそうトラック・バス株式会社の製品の品質問題(関連する訴訟、リコール、行政処分、刑事罰等を含む)に関する当社グループへの悪影響
- 金利・為替・石油価格の変動可能性
- 関係法令・規則の変更可能性
- 日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等      があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご留意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。